

令和6年りんご病害虫防除暦の**基準薬剤**に**交信攪乱剤(コンフューザーR)**が採用されました!!

Q 交信攪乱剤とはなんですか？

A ポリエチレン製チューブに害虫の合成性フェロモンを封入したものです。メスは性フェロモンでオスを引き寄せますが、合成性フェロモンが園地内に充満するため、交尾が阻害され、次世代の発生が減ります。引き寄せられたオス成虫は産卵せず、加害もしないため、被害には繋がりません。



Q なぜ基準薬剤に採用されたのですか？

A 薬剤が効かない害虫の発生や農薬の制度の変更に伴う使用可能な農薬の減少、令和5年のような異常高温年には害虫の生態が通常年と異なるなど、**薬剤散布を主体とした防除体系では、害虫被害を抑えきれなくなることが危惧される**ためです。

Q どうやって使用するものですか？

A 目通りの高さのりんごの枝に取り付けて使います。取り付けの本数や取り付け方は裏面をご覧ください。

Q 殺虫剤を減らせるということですか？

A 交信攪乱剤には殺虫・忌避効果はありませんので、通常の防除も行ってください。

Q どのような害虫に効果がありますか？

A 今回採用されたコンフューザーRは以下の害虫に効果があります。**モモシンクイガ、ナシヒメシンクイ、リンゴコカクモンハマキ、ミダレカクモンハマキ、リンゴモンハマキ**

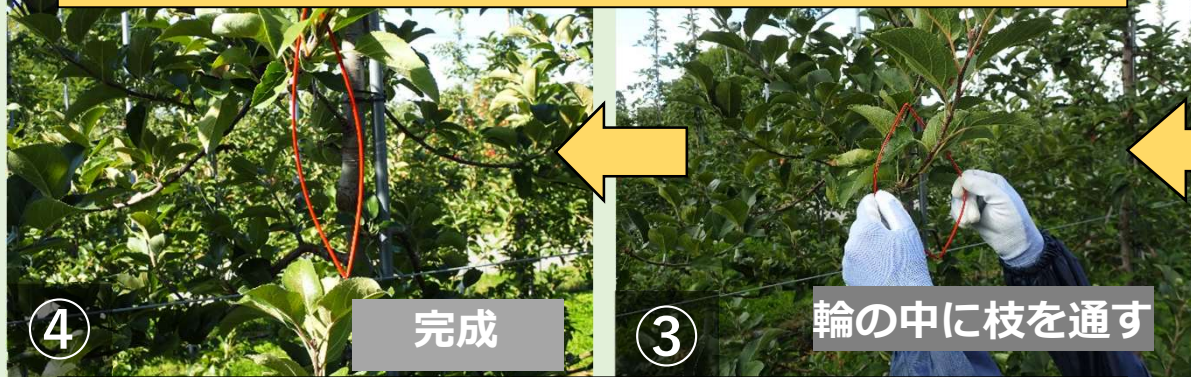
Q 取扱いに注意が必要ですか？

A 交信攪乱剤は対象害虫のみに作用します。人畜、水生動物、訪花昆虫、天敵などに対する影響や作物残留の心配はありません。効果の持続期間が短くなるため、支柱やトレリス等、温度が上昇しやすい資材には取り付けしないでください。

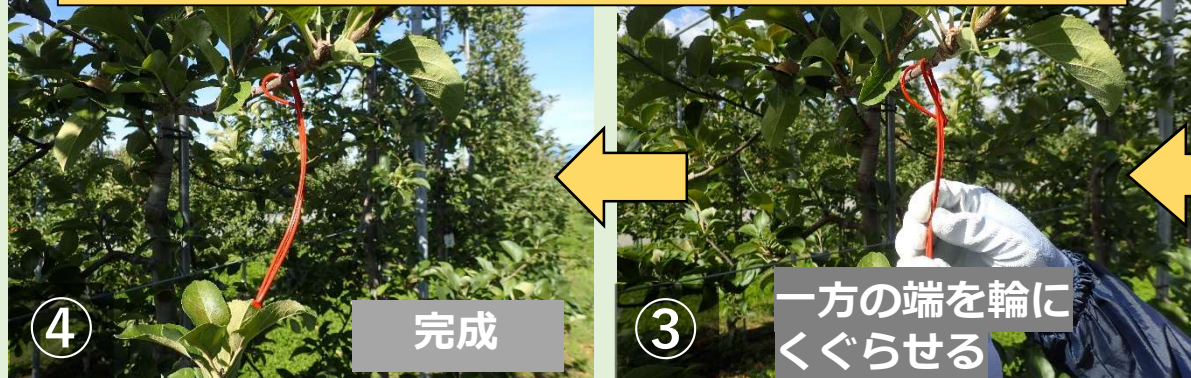
■コンフューザーRの取り付け方法



細い枝に取り付ける場合



太い枝に取り付ける場合



■栽植距離による設置本数（100本/10a）

栽植距離	10a当たり栽植樹数	1樹に設置するコンフューザーRの本数
8 × 8m（普通）	16樹	6.25本（1樹に約6本）
4 × 2m（わい化）	125樹	0.8本（5樹に4本）
3.5 × 1m（高密植）	286樹	0.35本（3樹に1本）

※令和5年11月9日現在の農薬登録内容に基づいて作成しています。農薬を使用する場合は、必ず最新の農薬登録内容を確認してください。

農林水産省「農薬登録情報提供システム」<https://pesticide.maff.go.jp/>

（問合先）青森県農林水産部りんご果樹課 電話017-734-9492